

1 調査日 平成22年8月9日(月)

2 調査の概要

(1) 喜撰山ダム(京都府宇治市)

異常洪水等の緊急時における淀川下流の洪水被害軽減のため、活用が検討されている喜撰山ダムの現況について調査を行った。

委員からは、防塵設備の有効性については、近畿地方整備局や3府県を交え、費用負担も考えながら検討していくべき、などの意見が出された。



(2) 天ヶ瀬ダム(京都府宇治市)

天ヶ瀬ダムの現況および天ヶ瀬ダムの効果的な運用に向けた再開発事業について調査を行った。



(3) 宇治川塔の島地区(京都府宇治市)

景観、自然環境の保全や親水性の確保などを重視した河床掘削等の整備を平成21年度から順次実施するとして塔の島地区の河道整備の現況について調査を行った。



(4) 大戸川ダム(大津市)

平成21年3月に近畿地方整備局が策定した「淀川水系河川整備計画」では、大戸川ダムは「洪水調節目的専用の流水型ダムとするが、ダム本体工事については、中・上流部の河川改修の進捗状況とその影響を検証しながら実施時期を検討する」とされている。

現在、ダム本体工事は凍結されているが、県道大津信楽線の付け替え工事はダムの準備工事として継続して実施されていることから、ダムサイト、水没予定地および付け替え工事の現場を視察し、大戸川ダム建設事業の現況について調査を行った。

